

若者プロジェクト

札幌市ボプラ若者活動センターの協力の下、10～30代の若者56人が集まりました。

恒例の白石大鍋(紅白豚汁)や、ステージイベントの「子ども白石クイズ」などでふるさとまつりを大いに盛り上げ、東日本大震災被災地支援のための募金活動も、しろっぴーと一緒に行いました。



ふるさと会活動報告

2、3面

会長あいさつ

寄付者御紹介等

4面

初日は夕方から雨に見舞われましたが、2日目は天気も良くなり、子どもからお年寄りまで両日で延べ3万5千人の区民に、夏のひとときを楽しんでいただきました。

今年も宮城県白石市と白石区との、片倉鉄砲隊甲冑武者が見参しました。総重量20kgを超える鎧兜を身にまとい、本物の火縄銃を携え威風堂々と行進する姿は、思わず息をのむほどの迫力です。古式銃演武が披露されると、会場からは拍手が湧き上がりました。

来場者の方が毎年楽しみにされている恒例のビンゴ大会では、昨年も協賛していただいた北海道コカ・コーラボトリング(株)から飲料1年分やギフト券、登別市と岩見沢市から宿泊券や農産物などを協賛品として提供していただきました。このほか、白石区に縁のある企業からも協賛品を提供していただき、参加した区民の皆さんは、番号が読み上げられるたび、一喜一憂していました。

今年も盛大に開催されたこの祭りには、ふるさとまつりの準備から後片付けまで、延べ293人もの地域の皆さんにスタッフとして協力いただきました。

つなぐ 被災者支援いつまでも

第36回のふるさとまつりから東日本大震災被災者支援事業を行っておりますが、今年で5回目となりました。毎年多くの方からの義援金をいただいておりますが、今回は合計29万7千323円を白石区へ避難して来られた方々の祭りへの招待費と、宮城県白石市復興寄付金に充てさせていただきました。ご寄付をいただいた皆さま、誠にありがとうございました。



ふるさと

「歴史」「人」「心」をつなぐふるさと

白石区ふるさとまつりは、7月18日、19日に、白石区役所駐車場と区民センターにて開催されました。昭和51年から毎年開催してきたこのお祭りも、今回で40回の節目を迎えることができました。



今年も盛り上がったビンゴ大会

節目を迎えたふるさとまつりの記念企画として、第34～36回の祭り会場に設置した「未来への手紙ポスト」に投函された未来の自分の宛てた手紙のお返しと、平成27年6月1日時点の白石区の人口を予想したクイズの発表を行いました。そのほか、区民センター1階廊下には、第1回から今回までのポスターを掲示しました。皆さん、懐かしそうに当手を振り返っているようでした。

また今年も、白石区連合女性部連絡会議の皆さんと地元小学校の児童などによる「白石音頭」や、区民による楽しいステージイベントを開催しました。そのほか、柏丘中学校卒業生のコンビ芸人「しろっぴー」による漫才、札幌市若者のまちづくり参加促進大使の「ミルクス」によるミニコンサートも会場を大いに沸かせていました。

会場内では、子ども会の皆さんによる遊芽(ゆめ)カーニバルも同時開催されふるさとまつりに花を添えていました。



女性部の皆さんによる白石音頭の様子

## 表現豊かに熱弁披露

### 白石区中学生の主張発表会

10月17日、白石区民センターで、「白石区中学生の主張発表会」を開催しました。この発表会は、自ら考え発表する力を養ってもらうこと、昭和45年に始まった歴史あるもので、今回で46回目を迎えました。

今回も宮城県白石市から、宮城県仙南地区弁論大会に市の代表として選出された中学生2名を招待し、発表していただきました。白石市の生徒からは、恩師のおかげで人の支えになりたいと思うようになったとの発表などがあり、来場者は真剣に聞き入っていました。

白石区の中学生たちは、ディズニーアカデミーでおもてなしの心を学んだこと、震災からの復興に向けて考えたこと、お互いに関心を持つ世の中にするための提案など、今年も多彩なテーマで熱弁を披露しました。発表が終わるたび、会場は大きな拍手で包まれ、来場者からは「素晴らしい発表に感動しました」、「中学生の意見を町内会活動の参考にします」などの声が寄せられました。

また、3年生の部最優秀賞の塚本悠月さん(白石中学校)と優秀賞の喜藤千晴さん(日章中学校)は、11月に白石市へ派遣され、白石市立東中学校で交流したり、白石市長を表敬訪問したりするなど、白石区と白石市の友好をさらに深めてきました。



3年生の部最優秀賞  
塚本 悠月さん



白石市で「ころ柿」体験

## 「白石でっち奉公」

### 地域の小中学生が就労体験

当会は、「次代の白石を担う子供たちに働くことの楽しさ、ふるさと白石の良さを知ってほしい」という思いから、平成13年度に「白石でっち奉公」を始めました。



当初、2校70人でスタートしたこの事業は、会員の皆さまをはじめ、地域全体のご支援をいただき、今年度は区内中学校7校、小学校2校の1400人も児童・生徒が参加し、区内外の143事業所の受入協力により実施される大きな事業となりました。

今年度も、北陸銀行白石支店で就労体験の様子のパネル展を開催したほか、用意したのぼり旗を活動中に掲げて、区民に事業をPRしました。来年度以降も実施する予定ですので、皆さまぜひご協力をお願いいたします。

## ～CSR活動の一環としての～ でっち奉公受入企業 募集中

### ～地域の子どもを地域で育てる～

子どもたちにとって、普段、学校や家庭ではできない貴重な体験となります。

白石区ふるさと会では、引き続き一日就労体験事業を行っていきます。会員企業様のCSR活動の一環として小中学生を受け入れてみませんか？

お問い合わせは事務局まで。

## 白石郷土館開設に向けて

本年11月7日に移転する白石区役所(白石区複合庁舎)内に、当会が運営する「白石郷土館」を同日開設いたします。

館内では、明治4年の入植から札幌市と合併した昭和25年までの出来事を、写真などの展示で紹介いたします。



今後は来たる5月の総会で、展示計画などについて会員の皆さまのご承認をいただいた後、備品の発注など具体的な作業に入っていくこととなります。

また、郷土館開設に向けて募集している寄付金につきましては、2月時点で2千万円超のご協力をいただいております。寄付金は3月以降も引き続き受け付けいたしますので、引き続き皆さまのご理解とご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

寄付金に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

総務委員会 町田(まちだ)  
080-3231-6137

事務局  
(白石区市民部総務企画課庶務係)  
861-2405



## 「月寒川にぎわい川まつり」

「川で遊ぶ機会を子どもたちに」

子どもたちに身近な自然に接する機会と親子のふれあいの場を提供し、自然環境について考えるきっかけをつくらうと、当会などで構成する実行委員会が毎年夏に開催している月寒川にぎわい川まつりは、今年度で20回目を迎えました。7月25日、曇り空の中、親子連れなど約700人が参加しました。子どもたちは「月寒川探検隊」として元気に川を探検したり、水車発電実験やカヌー・チューブ乗りなどで夏の一日を自然の中で楽しく満喫しました。



また、大学生のほかCSR活動として企業からもボランティアスタッフの参加があり、こうした若者の支援も受け、より円滑にお祭りを実施することができました。

## 「白石区まち美化プログラム」活動を実施

「会員企業のCSR活動へ」

このプログラムは、地域企業や団体と区役所が協働し、区内道路などの環境美化に取り組みものです。今年度も、利用者が多い「白石ころど（旧白石サイクリングロード）」約7.2kmを活動の場を選び、春に続き10月28日、11月6日の2日間に清掃を実施し、計50企業・団体・約400人が参加しました。落葉の時期だったこともあり収集したゴミは40ℓの袋726袋となりました。



活動中は、地域の方から「ご苦労様」と声を掛けられるなど、地域住民との交流の機会ともなりました。

来年度以降も引き続き実施予定ですので、会員企業のCSR活動の一環として参加してみたいかがでしょうか。

## 自動販売機を通じたご寄付

白石区役所と北海道コカ・コーラボトリング(株)とが締結したまちづくりパートナー協定により、防災対応型自販機設置者様から売上の一部を当会にご寄付いただいています。今年度は新たに(株)白石ゴム製作所にもご賛同・設置していただきました。対象の自販機は「しろっぴー」デザインが目印です。【設置者

・白石区母子寡婦福祉連合会様、北白石地区センター運営委員会様、(株)コンベンションリンク様、(株)シマダ建設工業(株)様、(株)白石ゴム製作所様】この場をお借りしてお礼申し上げます。



## 白石郷土館展示計画の検討

歴史文化委員会では、郷土館部会の5名の委員を中心に白石郷土館の展示内容などの検討を進めています。



各々分担して調査・研究を進め、定期的に集まって意見を交わしています。

白石郷土館が、区民の皆さまが開拓の歴史を思い巡らせる場となるよう、引き続き検討を進めていきます。

(写真左から南部、島田、柴、鈴木、太田)

## 雪まつり大雪像制作団体への激励を実施

1月20日、総務委員会の板垣委員長ほか5人が大通4、5丁目会場で大雪像を制作中の陸上自衛隊とさっぽろ雪まつり大雪像制作委員会を激励訪問しました。

訪問先では、みかんと缶コーヒーを差し入れ、委員長から激励と感謝の言葉を伝えました。

陸上自衛隊第11特科隊の左近3等陸佐からは「皆さんの心遣いに感謝いたします。雪像の製作を通じ、世界に誇る雪まつりを必ず成功させます。」とお礼の言葉をいただきました。



# 会長あいさつ、寄付者のご紹介、会の紹介及び入会案内

## 会長あいさつ

白石区ふるさと会会長の武藤です。日頃から、当会の活動にご理解とご協力をいただいておりますことに感謝申し上げます。

また、白石郷土館設置に向けた寄付金の募集に際しては、皆さまからの多大なるご協力を賜り、加えて今後への励ましを頂き、心からお礼を申し上げます。

今年は当会設立40周年を迎え、11月には区役所の移転を控えるなど、さまざまな面での節目の年であります。この節目の年にふさわしい、記憶に残る事業を行ってまいりたいと考えております。

引き続き、皆さまのご理解とご協力をお願い申し上げます。



## 平成27年度寄付者のご紹介

札幌白石ライオンズクラブ様 80,000円

当会にご寄付いただいた皆さま（一部）をご紹介します。いただいた寄付金は、中学生の主張発表会で、最優秀賞、優秀賞受賞者を宮城県白石市に派遣する事業などに活用させていただいたほか、今後実施する事業で活用させていただく予定です。このほかの皆さまからもご寄付をいただきました。

この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

※白石郷土館設置に係る寄付をいただいた方のお名前は、移転後の庁舎内にパネルを掲示いたします。

## ～白石区ふるさと会にぜひご入会ください～

### 白石区のまちづくりに貢献する団体です

白石区ふるさと会は、白石区を人情味と風格あふれる素晴らしいまちに育てていくことを目的として、昭和51年3月に設立されました。現在、区内の8連合町内会をはじめ、様々な住民組織、企業、官公庁などの団体会員や個人会員で構成されております。

当会は、各地区の文化体育事業、青少年健全育成活動等への助成や、白石区ふるさとまつりをはじめ、白石でっちな奉公、中学生の主張発表会などの各種の事業を開催しています。

皆さんもぜひご入会のうえ、白石区のまちづくりを支えてみませんか。

当会へは、白石区に関わりのある個人の方、白石区内でまちづくり活動・企業活動を行う団体であれば、どなたでもご入会いただけます。会員は、会の事業報告や事業計画の議事を行う「白石区ふるさと会総会」への出席や各種事業への関わりを通して、会の活動にご参加いただけます。

### 白石区ふるさと会への加入方法

会費を銀行振込または事務局へ持参していただくことにより加入することができます。詳しくは、事務局までお気軽にお問い合わせください。

なお、ご加入いただいた際は、白石区ふるさと会会員証（兼年会費領収書）を発行いたします。

〔団体会員：年会費5,000円から、個人会員：年会費1,000円から〕

| 区分      | 納入先   | 備考                       |
|---------|---|--------------------------|
| 銀行振込    | 北洋銀行 白石中央支店 普通口座 0381179<br>白石区ふるさと会会長武藤征一（ムウサカズ） | 大変恐縮ですが、振込手数料は別途ご負担願います。 |
| 事務局への持参 | 下記（白石区役所2階総務企画課庶務係）までお願いいたします。                    |                          |

（問い合わせ先）白石区ふるさと会事務局（白石区市民部総務企画課庶務係）

所在地 札幌市白石区本郷通3丁目北1 電話 861-2405